



ヘルプ



MX Remix for Orange Pi 5

デフォルトユーザー: **Orangepi**

デフォルトパスワード (MX): **demo**

MX-23 Orange Pi Respin は、Orange Pi 5 (=OPi5) 用にリリースされた Debian 12 (Bookworm) と MX Linux のフラッグシップ Xfce バージョンを統合したものです。これはデバイスの初期バージョン (2023年1月) と後期バージョン (2024年1月) で開発およびテストされました。

まず最初に

- **MX User Manager** (またはターミナルでは Menu > **Orangepi Config**) で ユーザーパスワードを変更する (強く推奨)
- **MX Date & Time** (または Menu > **Orangepi Config**) で正しい 時刻フォーマット を設定します。同じアプリで、"ハードウェアクロック" タブの "ローカル" を "UTC" に変更してください (推奨)。
- **MX Tools > System keyboard** (または Menu > **Orange Pi Config**) でデスクトップの

ローカライズを設定します。完了したらログアウトし、再度ログインします。

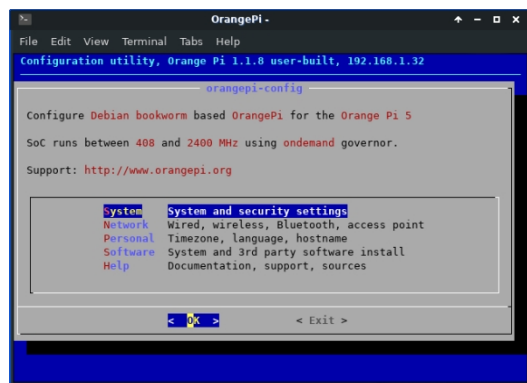
リソース

MX デスクトップ環境に関するご質問は、[MX フォーラム](#) と [ユーザーマニュアル](#) (Alt + F1) をご利用ください。

ヒント: このディストロの特徴的な機能を使いこなすために、必ずメニュー > MX ツールを起動してください。

Menu > Orange Pi Config を使用すると、一般的な設定に簡単にアクセスできます。詳しく

は[Orange Pi 5 Wiki](#)をご覧ください。どちらもメニューからアクセスできます。



Orange Pi Configのメイン画面

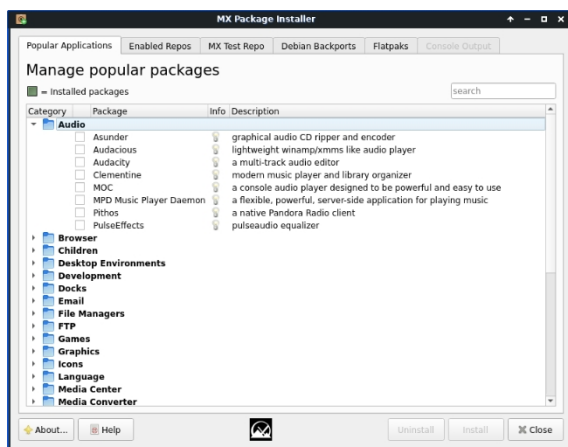
ソフトウェア

MX-23 Orange Pi Respinは、基本的なアプリがインストールされた状態で出荷されますが、メールクライアント、お気に入りの音楽アプリ、完全なオフィススイートなど、他のソフトウェアを追加するかどうかはユーザーの判断に委ねられます。便利な**MXパッケージインストーラー** > "Popular Applications" タブは、スピード、機能性、安全性の面で非常にお勧めです。

。

利用可能なアップグレードは、システムトレイ（別名システムトレイ、通知領域）の空のボックスの輪郭が緑色に変わり、デスクトップ上に視覚的な通知が表示されることで通知されます。ボックスを左クリックするとアップグレードプロセスが開始され、右クリックするとオプションや環境設定が確認できます。より詳細なパッケージ操作は、Synaptic を使って行えます。

注意： パッケージの不具合やシステムの不安定化を避けるため、デフォルトのリポジトリ以外からのソフトウェアの追加には十分注意してください。



オーディオデバイスの選択

無線LAN

私たちのテストでは、より新しいOPi5デバイスだけがハードウェアを追加することなく無線LAN機能を備えていました。MX Linuxは、WiFiカードを自動検出するようにあらかじめ設定されており（NetworkManager）、ほとんどの場合、カードは自動的に検出され、セットアップ

プされます。

- システムトレイのネットワーク接続アイコンを左クリックします。
- 参加するネットワークを選択し、必要なセキュリティ情報を入力する。
- 参加すると、システムトレイにおなじみの無線LANアイコンが表示されます。
- 通常、トラブルシューティングにログインすると、同じネットワーク

に再接続されます：

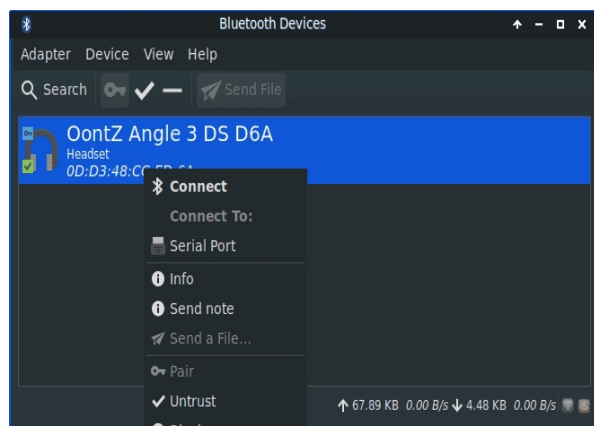
--**MX Network Assistant**により、ネットワークカードからウェブの問題まで、接続の問題を特定できます。

--高度なネットワーク設定では、多くの接続の詳細にアクセスできる。一部のPCでよく見られる「ネットワークがない」という問題は、ネットワーク名をダブルクリックし、「全般」タブの「すべてのユーザーはこのネットワークに接続できます」にチェックを入れることで解決する。

ブルートゥース

良質の外部アダプター（私はASUS USB-BT500 Dongleを使っている）があれば、最近のOPi5だけがBT機能を持つ。Bluetoothを有効にするには

- ・ システムトレイのアイコンを左クリックします。
- ・ 起動時にBluetoothを自動的に有効にするかどうかを選択する（推奨）
- ・ 必要に応じて、デバイスを検出可能にする
- ・ Menu > Bluetooth Managerを起動し、"Search"ボタンをクリックします。
- ・ デバイスのアイコンを右クリック > ペ어링、またはボタンバーを使用します。
- ・ もう一度右クリック > 信頼する、またはボタンバーを使う
- ・ すぐに切断される場合は、アイコンを左クリックして再接続するか、Bluetooth Managerを使用するか、単にログアウトして再接続してください。切断されない場合は、Bluetooth Managerでデバイスのアイコンを右クリック > 接続



ブルートゥース・スピーカーが見つかり、ペアリングされ、信頼されている。

サウンド

システムはデフォルトでHDMI接続でサウンドをルーティングするように設定されています。
変更するには

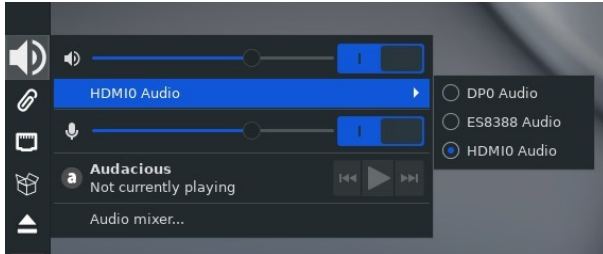
1. ヘッドフォン

- システムトレイのスピーカーアイコンを左クリックし、プルダウンメニューを使用して **ES8388**に変更します。

2. 外部スピーカー

- 外部スピーカーがオンになっており、有効になっていることを確認する
- システムトレイのスピーカーアイコンを左クリックし、プルダウンメニューを使用してスピーカーに変更します。
- ストリーミングサイト、audaciousのようなインストールされた音楽アプリ、または他のソースを再生してテストします。
- スピーカーのアイコンの上にカーソルを置いたまま、上下にスクロールして音量を調整する。

- 問題が発生した場合は、スピーカーのアイコンをもう一度左クリックし、
"Audio mixer "をクリックします。音楽ソースを起動し、ミキサーの "Output
Devices" または "Playback" タブをクリックして設定を変更します。



ヘッドホンの選択準備完了 (ES8388)

スクリーン

解像度、向き、選択範囲などの画面特性を簡単に変更するには、メニュー>ディスプレイを使用します。向きを変更すると、デスクトップとマウスの両方に影響します。

ブランキング。 XfceのPowerも他のメカニズムも、我々のテストでは機能しなかった。

サスペンド/スリープ。 メニュー」→「電源管理」→「ディスプレイ」タブをクリックする。ディスプレイの電源管理」が有効になっていることを確認し、一番上（「表示後何も表示しない」など）と一番下（「電源を切る」など）のスライダをゼロ/全く表示しないに動かしてから、真ん中の「スリープ状態にする」などというスライダを希望の分数に調整する。デフォルトは5分です。

注：「終了ボタン」>「スリープ」を使用した場合、画面を回復することはできませんでした。

バックアップ

メニュー>バックアップをクリックし、ターミナルでアプリ（shrink-backup）を起動します。必要に応じてメニュー>バックアップのヘルプを参照してください。

MXバージョン

MX Linuxの別の公式バージョンを簡単にインストールできる：

- **MXパッケージインストーラの起動**

- デスクトップ環境」をクリックし、KDEを選択するか、Fluxboxの場合は「ウィンドウマネージャ」を選択する。そして"インストール" をクリックします。
- ログアウトし、ログインページのトップバー中央にあるアイコンを使って新しいオプションを選択します。
- Raspberry Pi 5で実演した短いハウツービデオ: <https://youtu.be/T19Hy93kEHg>

注意: パッケージインストーラには、他のデスクトップ環境やウィンドウ マネージャもあります。

その他

- 画面を中央に配置するには、「メニュー」→「ウィンドウ管理の調整」→「配置」タブをクリックし、「最小サイズ」スライダーを約75%に動かします。

- MX オレンジパイ レスピンレポ: https://github.com/jerry3904/OrangePi_respin

V: 240703